



鶴舞マインド便利

発行元：千葉県循環器病センター 〒290-0512 千葉県市原市鶴舞575 TEL. 0436(88)3111(代表) FAX. 0436(88)3032
URL <http://www.pref.chiba.lg.jp/junkan>

循環器病センター5つの運営指標

- 良質で模範的な医療の提供を目指します。
- 温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。
- 常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。
- 近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。
- 透明性の有る医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。

病院長あいさつ

「平成29年度はじまりの一言」

病院長 村山 博和



平成29年度を迎え2か月が経ち、そろそろ鶴舞の新緑がきれいになる時期となりました。昨年は国の地域医療構想を反映した28年診療報酬改定の波をうけ、病床の再構築で思慮する1年でした。地域包括ケア病棟を開設し、退院支援部門による患者さんへの在宅復帰への取り組みをさらに充実させ、また7：1急性期病床、集中治療病床、脳卒中ケア病床、すべての病床状況を随時把握できるようにすることで効率的で患者さんにとってふさわしい療養環境を提供できる仕組みを構築してきました。千葉県立病院新改革プランでは「県立病院は、がん、循環器、三次救急医療、精神医療、小児医療など全県や複数圏域を対象とした医療の最後の砦としての役割を担い、また専門的見地から地域医療機関への支援や今後の医療のモデルとなるべき先進的な取り組み等も担うべき役割である」と示されています。元より千葉循環器病センターは循環器系疾患、脳神経系疾患に対する高度医療を全県レベルで広く行っていくセンター機能と内科等の一般診療科による地域中核病院機能の双方を併せ持った病院として医療を提供してきており、プランに示されている「最後の砦」と「地域医療機関への支援」を実践していく基本方針は一貫して変わりません。重症度の高いハイリスク患者さんに対する高度医療の実践にあたっては、脳神経系、心臓血管系、一般診療系の各専門医が密に連携する体制や外科系医師のバックアップ体制を整えて対応してきました。これらの協働支援体制が安全な医療を実践するための基盤の一つとなっており、循環器病センターが大切にしてきた特色であります。またどの治療をとっても医師のみならず多種職の連携なくしては成り立ちません。循環器病センターのすべての職員の知識の向上や努力に支えられて一歩一歩実現してきました。今年も「一人ひとりを大切にする医療」をかかげ、職員にはやりがいのある働きやすい病院であるとともに患者さんにとっては安全で安心して受けられる医療を提供するよう、職員皆でめざしていきたいと思っております。

就任にあたってのひとこと

看護局長 鈴木 美香



『人の心の痛みのわかる人になりたい』と看護師になり、30年が過ぎました。私は、これまで、患者さんの価値観を尊重できる『患者中心の看護』を目指してきました。また、常に自分の眼と耳と感覚で判断することを怠らないよう、職員の言葉に常に耳を傾けられる管理者でありたいと思っています。さらに、管理職に求められているミッションは、想像力の豊かな看護師を育成する事、病院の目標に向かって、看護師のみならず、多種職が協働できる働きやすい職場環境を整えることだと考えています。その上で、病院長が示した目標を達成するために、看護局として何をすべきかを、看護師長と共に検討し、計画的に実践していきたいと思えます。医療の現場は、忙しく、厳しい毎日です。しかし、『仕事は楽しく』をモットーに、笑顔とアサーティブなコミュニケーションを大切にして、『患者中心の看護』を続けたいと思えます。ご協力お願いいたします。

事務局長 伊能 敬之



本年4月から当センターの事務局長として赴任いたしました。当センターは、房総半島のほぼ中心に位置し、春から夏にかけての天気の良い日には、毎日のようにうぐいすのさえずりが聞こえるなど自然豊かで、病院の周辺環境としてとても良い場所に立地しています。この鶴舞の地で、前身の鶴舞病院時代から数えると60有余年の長きにわたり、時代の要請に答え、県立病院としての役割を担うため、高度医療と地域医療の提供に努めて参りました。そして、「循環器病センター」として新たなスタートを切って以来、平成30年2月には、開設20周年を迎えます。この節目の時を迎え、当センターをさらに発展させるべく、事務局長としての職責を全力で果たして参りません。

市民公開講座を開催しました！

6月3日（土）に第22回市民公開講座を開催しました！

今回は糖尿病をテーマに、内科の平井先生と外来看護師の西原さんが講師となり、糖尿病について解説しました。参加者の方々が熱心に講座を聞いている姿がとても印象的でした！



次回は10月14日（土）、茂原市東部台文化会館3階音楽ホールにて開催予定です。静脈りゅう・てんかん診療についてご説明します！

防災訓練を実施しました！

5月25日（木）に防災訓練を実施しました！

今回は市原市で震度5強の地震が発生し、当センターで火災が起きたことを想定して訓練を実施しました。

訓練後は消防署職員の方々に講評をしていただきました！



対策本部の様子です！

看護の日を開催しました！

5月20日（土）に当センターにて看護の日を開催しました。

健康に関する知識を深めたり、自分の体の状態を調べたりすることで健康を維持してもらおうというものです。

今回は大動脈りゅうについての講演会を実施しました。大動脈りゅうの破裂を防ぐため熱いお風呂に入らないことや、食事や運動などの生活習慣を見直して予防に努めることなどを呼びかけました。

その後血管年齢・骨密度・血圧などの測定を行い、普段検査の機会がないというお年寄りも自分の健康状態を確認することができました。

また認知症予防体操の実施やお薬に関する相談コーナーも設けられました。

そして当日はNHK千葉放送局の取材を受け、18時45分から首都圏ニュースでイベントの様子が放映されました！



医師による講演会の様子です！



リハビリテーション科による認知症
予防体操です！

生活習慣改善のためのポイント

1. 1日のエネルギー摂取量を守る

エネルギー摂取量が多すぎると体に負担がかかり病気も悪化してしまいます。

2. 栄養バランスを考える

食物繊維を多く含む野菜などを多くとるようにしましょう。

3. 規則正しく食べる

きちんと3回決まった時間にとり、間食をせず、規則正しい食事を心がけましょう。また就寝直前の食事はさけるようにしてください。

4. 塩分はひかえめに

塩分のとり過ぎは、むくみや血圧の上昇につながります。薄味にしたり、加工品を減らすよう心がけましょう。

患者さんへのお願い

かかりつけ医を持ちましょう！

【かかりつけ医とは】

- ・風邪などの日常的な病気等を気軽に診てもらえる身近にある診療所の医師のことです！
- ・当院を受診する際は、かかりつけ医からの紹介状をお持ちください
- ・紹介状をお持ちいただくと、次のようなメリットがあります！

1. 紹介状には、かかりつけ医によるこれまでの治療経過も含まれますのでスムーズに当院での診療計画を立てることができます。
2. 同じ検査を省略できる場合があり、患者さんのご負担が軽減されます。
3. 紹介状なしで200床以上の病院を受診すると、自己の選択に係るものとして初診時に病院が定める料金（810円）をご負担していただいておりますが、この費用がかかりません。

ボランティア募集中！！

千葉県循環器病センターではボランティアさんを募集しています。

- ★特別な資格や経験は必要ありません。
- ★環境整備、受付、病棟などいろいろな場面で活躍していただけます。
- ★ボランティアさんの無理のない範囲での活動をお願いしています。

興味のある方は下記までご連絡ください

＜申し込み・お問い合わせ＞

循環器病センターボランティア実行委員会事務局

TEL:0436-88-3111（代）

FAX:0436-88-3032

活動内容等、詳しく知りたい場合はホームページをご覧くださいか、ボランティア実行委員会事務局までお問い合わせください！



ギャラリー二つ返事

7月 書のサークル 換鷺
『書道』

2階ギャラリーにて展示予定です。
ぜひお立ち寄りください♪

8月 ぱれっと
『絵画』

9月 家庭倫理の会
『絵手紙』

